

目次**第1篇 運賃計算の基礎知識****No.1. 航空運賃の基礎知識 I**

1. 出題例 (R3)
2. 用語解説
 - a. 都市 / 航空会社コード
 - b. 月 / 曜日の表記
 - c. 発着時刻
 - d. 搭乗クラス
 - e. 運賃の種別
 - f. 旅行形態
 - g. NUC と円価額

No.2. 航空運賃の基礎知識 II

1. 出題例 (R 2)
2. 用語解説
 - a. TPM と MPM (マイルージ計算)
 - b. マイレージ計算の例外
 - c. HIPチェック

本資料に掲載

第2篇 具体的な計算手順**No.3. 往復 / 周回旅行の運賃計算****No.4. オープンジョーの運賃計算****第3篇 各種規則の内容****No.5. 規則表の読み取り I****No.6. 規則表の読み取り II****No.7. 規則表の読み取り III****No.8. Fare Culculation の読み取り**

No. 2 航空運賃の基礎知識 II

1. 出題例

適用条件

1. 旅程：

			発	着
TOKYO(HND) – PARIS(PAR)	NH215	23NOV(月)	11:40	16:25
PARIS(PAR) – ATHENS(ATH)	AF1532	03DEC(木)	09:35	13:50
ATHENS(ATH) – VIENNA(VIE)	OS802	09DEC(水)	14:55	16:20
VIENNA(VIE) – TOKYO(HND)	NH206	10DEC(木)	11:50	06:55+1
 2. クラス・人員：エコノミークラス・大人1名
 3. 適用運賃：
 - NH エコノミークラス特別運賃 Basic M
 - NH エコノミークラス特別運賃 Basic U
 - NH エコノミークラス特別運賃 Value S
 4. 運賃・規則：資料編参照（資料 1. 及び資料 2. ）
 5. 運賃計算上の折り返し地点：各設間に記載
 6. 各区間の TPM と MPM：
 - ・各区間 TPM TYO – 6194(TS) – PAR – 1306 – ATH – 796 – VIE – 5699(TS) – TYO
 - ・MPM
 - TYO – PAR 7432(TS)
 - TYO – ATH 7252(TS)
 7. 航空券の予約完了日・発券日：2020 年月 17 日（水）
 8. 航空券の発券・販売：日本
 9. その他：運賃は本来 NUC 額にて算出するが、計算簡素化のため円貨額にて算出するものとする。
- 〈参考〉各区間の TPM の合計
 TYO – PAR – ATH 7500
 TYO – VIE – ATH 6495
 TYO – VIE – ATH – PAR 7801

2. 用語解説

a. TPM と MPM（マイルージ計算）

TPM (Ticketed Point Mileage)：各都市間の距離をマイル数であらわした数値。

MPM (Maximum Permitted Mileage)：目的地までの直行運賃を適用できる最大許容距離。

マイルージ計算とは、始発地点から目的地点までの TPM の合計と MPM を比較し、前者が後者を超えていなければ直行運賃を適用し、超えていえば超過分に応じて運賃を割り増しする計算方法です。

- ・ TPM の合計 ≤ MPM → 直行運賃を適用
- ・ TPM の合計 > MPM → 超過に応じた割増し運賃を適用

《具体例》

適用運賃：TYO → PAR (片道)、230,000 円 (ヨーロッパ内の運賃は均一とします。)

MPM : TYO - PAR **7432**(TS)

TS (Trans Siberia) とは航空経路を表すグローバル・インディケーター (Global Indicator : GI) の一つで、日本とヨーロッパを直行するルートです。

◆ 行程1

TYO ——— PAR
6194 : 直行しているため割増しはなし。
230,000 円

◆ 行程2

TYO ———^{ロンドン}LON ——— PAR
6214 220 : 6214+220= 6434
TPM の合計 ≤MPM であるため割増しはなし。 230,000 円

◆ 行程3

TYO ———^{ヘルシンキ}HEL ———^{マドリッド}MAD ——— PAR
5229 1874 652 : 5229+ 1874+652= 7755
TPM の合計 >MPM であるため割増しが必要。 7755 ÷ **7432** = 1.043... (約 4.3%増し)
230,000 円 × **1.05** = 241,500 円 5%増しの結果を航空券には**5M**と記載します。

◆ 行程4

TYO ———^{ヘルシンキ}HEL ———^{リスボン}LIS ———^{ローマ}ROM ——— PAR
5229 2091 1152 687 : 5229+ 2091+1152+687= 9159
TPM の合計 >MPM であるため割増しが必要。 9159 ÷ **7432** = 1.232... (約23.2%増し)
230,000 円 × **1.25** = 287,500 円 25%増しの結果を航空券には**25M**と記載します。

【割増率】 試験の別添資料には下記のような記載があります。

- ・ TPM の合計が MPM 以内の場合、運賃計算区間内の直行運賃を適用する。
- ・ TPM の合計が MPM を超える場合、超える割合に応じて直行運賃を割り増す。(マイルレージ サーチージ)

if result is:		but not higher than		Surcharge fare by:
over	1.00		1.05	5%
	1.05		1.10	10%
	1.10		1.15	15%
	1.15		1.20	20%
	1.20		1.25	25%
	1.25			lowest combination

b. マイレージ計算の例外

◎ 例外1 Specified Routing (特定経路：スペシファイド ルーティング)

日本国内 ↔ ロサンゼルス 又は サンフランシスコ ↔ シアトル の行程は、TPM や MPM が設定されていてもマイルレージ計算をせずに**直行運賃**を適用します。 試験の別添資料には下記のような記載があります。

特定経路 (スペシファイド ルーティング Specified Routing)

出発地点から目的地まで指定された経由地点を順に旅行する場合、距離計算及びHIPチェックをすることなく出発地点から目的地の直行運賃をそのまま適用できる規則

- ・ 太平洋線 Between Area 1 and Area 3 via pacific (抜粋)

Between	And	via
SEA	Japan	LAX or SFO

経由地はロサンゼルス 又は サンフランシスコの一方で、両方を経由するときはこの規則は適用しません。また、他の都市も含めて経由する場合もこの規則の適用外です。

《具体例》

適用運賃：TYO → SEA (片道)、265,000 円
 // : TYO → NYC (片道)、284,000 円
 MPM : TYO - SEA 5730(PA)
 // : TYO - NYC 8067(PA)

PA (PAcific) もグローバル・インディケーターの一つで、太平洋を横断するルートです。

◆ 行程 1

TYO ——— ロサンゼルス LAX ——— シアトル SEA

5458 956 : 5458+956= 6414

TPM の合計 > MPM であるが、特定経路にあたるため割増はせずに、265,000 円を適用。

◆ 行程 2

TYO ——— ロサンゼルス LAX ——— シアトル SEA ——— ニューヨーク NYC

5458 956 2406 : 5458+956+2406= 8820

TPM の合計 > MPM であるため割増しが必要。 8820 ÷ 8067 = 1.093... (約9.3%増し)
 284,000 円 × 1.1 = 312,400 円

特定経路に該当せず、原則通りマイルージ計算をします。

◎ 例外2 TPM Deduction (距離控除)

日本国内の都市と And の都市の間に、Via の都市を経由するときは、全行程の距離から **700 マイル控除** できる規則です (その分だけ旅客に有利になります。)。この規則はまだ出題されたことはありません。

例えば、日本国内の都市から BOM までの行程で、途中で DEL を経由すれば、全行程の距離の合計距離から700をマイナスします

Between	And	Via	Mileage Deduction
日本国内の都市	BOM	DEL	700
	DEL	BOM	
	KHI	ISB	
	ISB	KHI	
	日本国内の都市	DEL と BOM	
	日本国内の都市	KHI と ISB	

BOM: ムンバイ (インド)

DEL: デリー (//)

KHI: カラチ (パキスタン)

ISB: イスラマバード (//)

《具体例》

適用運賃：TYO → BOM (片道)、302,000 円
 MPM : TYO - BOM 5041(EH)

EH (Eastern Hemisphere: 東半球) もグローバル・インディケーターの一つで、日本⇄東南アジア、日本←東南アジア→ヨーロッパ (南回り) を通るルートです。

◆ 行程

TYO ——— バンコク BKK ——— デリー DEL ——— BOM

2869 1824 708 : 2869+1824+708-700= 4701

控除により TPM の合計 ≤ MPM となり、直行運賃302,000円を適用。

(控除がなければ2869+1824+708=5401で約7%超過します。)

この規則は、指定経由地以外(BKK など)を経由しても適用できます。

c. HIPチェック

《適用する運賃》

ここまでの行程で適用した運賃は「出発地点 → 目的地」の運賃でした (設例では目的地の運賃が最も高額 <又は均-> の運賃の行程を適示しました。)

しかし、実際の行程では「出発地点 → 目的地」よりも、「出発地点 → 途中地点」や「途中地点 → 目的地」の方が高額なことがあり、その場合はそれらの中で**最も高額な運賃**をその行程の運賃とします。この地点を中間高額地点 (Higher Intermediate Point) といい、これを調べることを **HIP チェック** (Higher Intermediate Point Check) といいます。

運賃額を HIF (Higher Intermediste Fare) ということもあります。

《具体例》

行程: TYO — 都市 A — 都市 B — 都市 C — 都市 D
1000 1100 1000 1050

適用運賃 (片道): TYO → 都市 A、100,000 円 TYO → 都市 B、110,000 円
 TYO → 都市 C、**150,000 円** TYO → 都市 D、130,000 円
MPM:TYO - 都市 D、4000

上記の行程では、適用運賃は最も高額である 150,000 円 (TYO → 都市 C) を適用します。これが HIP。
マイルージ計算が必要なときは、1000+1100+1000+1050= 4150
TPM の合計 > MPM であるため割増しが必要。4150÷4000= 1.0375 (約3.7%増し)

150,000 円 × 1.05 = 157,500 円 運賃は A-C を適用しますが、マイルージ計算は A-D 間でします。ここ大事!

(注) 本来の HIP チェックでは、TYO からの運賃以外に「都市 A → 都市 B, 都市 C, 都市 D」「都市 B → 都市 C, 都市 D」「都市 C → 都市 D」のチェックが必要ですが、試験対策としては出発地点 (TYO など日本国内の都市) のみからチェックすればよいです。試験の別添資料には下記のような記載があります。

HIP CHECK (Higher Intermediate Point Check)

運賃計算区間内において、始点から終点の運賃と、

- ・ 始点から中間途中降機地点の運賃
- ・ 中間途中降機地点から終点の運賃

を比較して、始点から終点の運賃より高い場合、その一番高い運賃を HIP として使用する規則

《留意点》

1. HIP チェックの対象になる地点は**途中降機地点**に限られ、**乗り継ぎ地点**は含まれません。
途中降機地点・・・航空機による到着から出発まで、24 時間を超える滞在地
乗り継ぎ地点・・・ // 24 時間以内の //
途中降機には、運賃によっては別途料金が必要な場合があります。
2. 今回取り上げた「マイルージ計算 (マイルージサーチャージ)」と「HIP チェック」は、常に必要というわけではなく、運賃ごとの規則表の「運賃計算規定」に要否が明示されます。試験開始後は必ずここを確認します。

[必要な場合の例]

運賃計算規定	距離計算、HIPチェックを適用する
--------	-------------------

[不要な場合の例]

運賃計算規定	指定経路型運賃であり、距離計算、HIPチェックは適用しない
--------	-------------------------------

1. 行程が以下のとき、運賃の割増率を求めなさい。単なる計算問題です。時間がなければ解答を見てください。
- (1) 都市 A ~B~C までの TPM の合計が 2345 で、A -C 間の MPM が 2345 であるとき。() %
- (2) 都市 A ~B~C までの TPM の合計が 2533 で、A -C 間の MPM が 2345 であるとき。() %
- (3) 都市 A ~B~C までの TPM の合計が 2580 で、A -C 間の MPM が 2345 であるとき。() %
2. 次の資料を参照し、各設問に答えなさい。
- (4) 羽田空港~シアトル(タコマ国際)空港~ロサンゼルス空港の行程は特定経路(Specified-Routing)に該当し、直行運賃が適用される。()
- (5) シアトル(タコマ国際)空港~サンフランシスコ空港~羽田空港の行程は特定経路(Specified-Routing)に該当し、直行運賃が適用される。()

《資料》

特定経路(スペシファイド ルーティング Specified Routing)

出発地点から目的地まで指定された経由地点を順に旅行する場合、距離計算及びHIPチェックをすることなく出発地点から目的地の直行運賃をそのまま適用できる規則

・太平洋線 Between Area 1 and Area 3 via pacific (抜粋)

Between	And	via
SEA	Japan	LAX or SFO

3. 次の資料を参照し、各設問に答えなさい。本試験は択一形式ですが、理解の確認の意味で計算してみてください。
- (6) 以下の条件による行程の割増率は、() % である。
- (7) 以下の条件による行程の運賃額は、() 円である。

《資料》

出発日：2024年5月1日

行程：東京(TYO) -2706(EH)- ホーチミン(SGN) -679- シンガポール(SIN) -897- バンコク(BKK)

各区間の TPM の合計： TYO-SGN-SIN 3385

TYO-SGN-SIN-BKK 4282

MPM: TYO-SGN 3247 (EH) TYO-SIN 3974 (EH) TYO-BKK 3442 (EH)

運賃計算規則：距離計算、HIP チェックを適用する

その他：経由地はいずれも途中降機地とします。

片道運賃(単位：円)

出発地	TYO 東京		
目的地	SIN シンガポール	SGN ホーチミン	BKK バンコク
シーズナリティー 2024/4/1~ 2025/3/31	254,000	230,000	245,000

Check Test 解答・解説

1.

- (1) 0% : TPM の合計と MPM の合計が等しい (超過していない) ので、割増はない。
 (2) 10% : 2533 (TPM の合計) \div 2345 (MPM) $=1.080\dots$ よって 10% 増し。
 (3) 15% : 2580 (TPM の合計) \div 2345 (MPM) $=1.100\dots$ よって 15% 増し。

なお、距離計算が必要な運賃の航空券には運賃額 (NUC) に続いて、以下のような割増しの結果を表示します。

割増の結果	表示	割増の結果	表示
割増なし	M	15%	15M
5%	5M	20%	20M
10%	10M	25%	25M

2.

- (4) × : Specified Routing の規定は、運賃の計算をする区間の一方が日本国内の都市、他方がシアトルでなければなりません。
 (5) ○ : Specified Routing の規則を適用する条件を満たしています。

3.

- (6) 25 (%) : TYO-BKK の区間で距離計算をします。

$$4282 \div 3442 = 1.2440\dots \text{ より } 25\% \text{ 増し。}$$

- (7) 317,500 (円) : この区間の都市の運賃額で最も高額であるのは、SIN の 254,000 円で、これが HIP となる。
 よって、この額を 25% 増しする。 $254,000 \text{ 円} \times 1.25 = 317,500 \text{ 円}$ 。